

令和4年2月1日（火）

WWL (World Wide Learning) 県央ネット発表会

2月1日(火)にオンラインでWWL (World Wide Learning) 県央ネット発表会が行われました。本校から1年3組の生徒3名が、商業科 小林 豊教諭の指導のもと次のテーマで発表しました。 三条商業高等学校発表テーマ

『 商店街の未来予想図 ～イベントを通じ地域と連携～ 』

昨年11月頃から小林教諭の指導のもと準備に取りかかりました。約4か月間の準備の成果がすばらしい形になったと思います。また、他校から一つ質問が出ましたが、探究を通して得た自分たちなりの考えをしっかりと回答しました。発表した3名の生徒にはこれからも探究学習を続けていくように頑張ってもらいたいと思います。

【WWL (World Wide Learning) コンソーシアム構築事業について】

- 将来、新たな社会（Society5.0）を牽引し、世界で活躍できるビジョンや資質・能力を有したイノベティブなグローバル人材の育成を目的とした文部科学省事業（令和元年度～）
- 高校と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生に高度な学びを提供する仕組み（コンソーシアム）を構築し、カリキュラムを開発

【県央ネットとは】

三条高等学校、三条東高等学校、新潟県央工業高等学校、三条商業高等学校、加茂農林高等学校、燕中等教育学校、地元企業、三条市立大学で形成されるネットワーク。ネットワーク内の連携により、探究活動の内容を深めていく。



3名の生徒はそれぞれ自分のパートをしっかりと発表しました。



ZOOMでのオンラインでしたが学習用タブレット端末、電子黒板を活用しよい発表ができました。



最後まで気を抜かず、発表をやりきりました。お疲れ様でした。